

総合教養対策音声ファイル①

解答

(1) 正解 a

講義で「無数の蛇が怪しく鱗を光らせ、斬首された幼女の首におどろおどろしく絡みついている」と紹介されているので、最適な絵は a である。そもそもメデューサを一度でも見たことがあればすぐに正解がわかるだろう。

(2) 正解 c

- a. メデューサはダヴィンチの作品ではなく、フランドルの画家の作品だと講義で触れられていた。
- b. オスカーワイルドはペイターのモナリザ論を絶賛した人物である。作ったわけではない。
- d. そのようなことは講義で触れられていないし、有名になったのは後世の批評家の影響である。

(3) 正解 d

- a. ヴィクトリア朝の封権的な社会構造はペイターのモナリザ論を誘導した。
- b. 拡大解釈がモナリザの誤った印象を作り上げた。
- c. オスカーワイルドがペイターのモナリザ論を広めたことにより、モナリザの誤った印象が一気に世に広まり、形成されたと言える。

(4) 正解 d

講義において「幾度も死を経験し、墓の中の神秘を知った」という詩が紹介されているため d が正解である。a,b,c は誰の詩でもない。

(5) 正解 b

- a. 講義で直接触れられている
- b. モナリザは当時の「似顔絵」を大きく逸脱して、近代にもつながる 「人物画」としての表現として講師に賞賛されているのでこれが答え。
- c. 講義で直接触れられている
- d. 講義で直接触れられている

(6) 正解 c

- a. モナリザが有名になったのは、後世の批評家のおかげである。
- b. そのようなことは講義では述べられていない。
- c. その通りである。
- d. そのようなことは講義では述べられていない。

(7) 正解 c

- a. そのようなことは講義では述べられていない。
- b. 前半の部分「ペイターのモナリザ論をもっと深く議論し」が間違い。そのようなことは主張されていない。
- c. 講義の最後に「正しい情報かつ間違っただけの情報を含み、理性的に後世に伝えられることを願うばかりです」と述べられているので、これが正解。
- d. そのようなことは述べられていない。

(8) 正解 b

難しい問題。講師は若桑みどり氏の言葉の引用から、「テレビや報道番組をみても、真実の断片を切り取ることでかえって真実とは程遠い印象を与えている例はいくらでもあります。」と例を述べているため、この例の具体例を考える。

- a. 具体例として整合性が取れない。
- b. 「政治家の怒った場面（事実）だけ（断片）を取り上げるマスコミの印象操作」と講師の例とピッタリ整合性が取れる。
- c. ひっかけ。これは講師の挙げた例というよりは、最後の「「虚構」と批判を受けると覚悟してでも、自ら信じる「真実」の方に誠実であるべきだ」という主張に会う。
- d. 事実ではなく、虚偽の情報を載せている時点で講師の例とは真反対である。

(9) 正解 a

ルネサンスの説明は以下の通りである。

「14世紀イタリアに興り、16世紀までに全欧州に展開した学問上・芸術上の革新運動。ギリシャ・ローマの古典文化を復興し、教会中心の中世的世界観を離れ、現世の肯定、人間性の解放、個性の尊重を主張。その影響は政治・社会・宗教など多方面に及び、欧

州近代文化の基礎となった。」

- a. その通りで、教会中心の封権的社会（暗黒の時代）へ反発した時代である。
- b. ギリシャ、ローマの古い文化・文学捨てたのではなく、復興した時代である。
- c. 集団よりも、個性が重要視された時代である。

(10) 正解 b

- a. ヴァザーリは確かに間違えたが、講師はそれを「罪」とは断罪はしていない。
- b. 一番無難なタイトルである。
- c. 「真の価値と乖離している」とは講義では述べられていない。
- d. ダヴィンチの想いは講義では特に紹介されていない。